

[平成19年度設置]

計画の区分：学科の設置

久留米工業大学 工学部 教育創造工学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書（抜粋）

学校法人 久留米工業大学
平成22年5月1日現在

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 久留米工業大学

(2) 大学名

久留米工業大学

(3) 大学の位置

〒830-0052
福岡県久留米市上津町2228-66

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(キタムラ サダオ) 喜多村 貞勇 (平成11年5月)	(イシカワ ナルミツ) 石川 集充 (平成21年5月)	平成21年5月26日付 理事長就任のため(21)
学長	(ネモト ミノル) 根本 實 (平成16年4月)	(オザキ タツオ) 尾崎 龍夫 (平成21年1月)	平成21年1月付学長就 任のため(20)
学科長等		(シブタニ ノリマサ) 渋谷 憲政 (平成19年4月)	平成19年4月付学科の 開設にあわせて学科長を 選任したため(19)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 教育創造工学科 学士(工学)	年 4	人 30	年次 人	人 120	平成22年4月から入学定員を30人から40人に変更(21)

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備 考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(-) 30人	(-) 30人	(-) 30人	(-) 40人	0.60倍	平成21年度編入者1名は3年次定員外編入 平成22年度編入者1名は2年次定員外編入
志願者数	(-) 30	(-) 34	(1) 40	(1) 54		
受験者数	(-) 30	(-) 34	(1) 40	(1) 53		
合格者数	(-) 30	(-) 32	(1) 38	(1) 53		
B 入学者数	(-) 16	(-) 14	(1) 19	(1) 31		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.53	(-) 0.47	(1) 0.63	(1) 0.77		

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備 考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[-] 16	[-] 14	[-] 19	[-] 31	
2年次	/	[-] 16	[-] 14	[-] 18	
3年次	/	/	[-] 17	[-] 14	
4年次	/	/	/	[-] 15	
計	[-] 16	[-] 30	[-] 50	[-] 78	

- (注) ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 16人	0%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 16人	0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 14人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 16人	0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 14人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 20人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[%]
	うち平成19年度入学者 2人	平成19年度 16人	4.9%
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 14人	
	うち平成21年度入学者 2人	平成21年度 20人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 32人	
	他の教育機関への入学・転学 2名		その他 2名

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<工学部 教育創造工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	文章表現の技術	1		2				1				
	経済学入門	2・3・4		2				1				
	技術の倫理	2・3・4		2			1					
	異文化コミュニケーション	2・3・4		2			1					
	論理学入門	2・3・4		2			1					
	情報・メディア・文化	2・3・4		2			1					
	現代の経済と経営	2・3・4		2				1				
	経営学入門	2・3・4		2				1				
	生活と社会	2・3・4		2				1				
	日本国憲法	2・3・4	2									
	ペーシクイングリッシュ	1前 2後	1						1			
	英語コミュニケーションスキル	2前	2					1				授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	オール科学技術英語	1後		1					1			
	科学技術英語	2前		2				1				
	オールイングリッシュ	1前 1後	1						1			授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	中級オールイングリッシュ	2後		2					1			
	上級オールイングリッシュ	3・4		2								
	上級英語	3・4		2				1				
	ドイツ語	2前		2				1				
	中国語	3・4		2								
	生涯スポーツⅠ	1前	1				1					
	生涯スポーツⅡ	1後	1				1					
	健康科学	2後		2			1					
	自主活動Ⅰ	1・2・3・4		2								
	自主活動Ⅱ	1・2・3・4		1								
	インターシブⅠ	1・2・3・4		2								
インターシブⅡ	1・2・3・4		1									
学外教育	1・2・3・4		2									
学科共通専門科目	フレッシュマセミナー	1前	2			4		3				
	工学基礎セミナー	1前	2			4		3				
	エクステンションセミナーⅠ	2前 2後 3後		2		4		3				授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	エクステンションセミナーⅡ	3前		2		4		3				授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	基礎数学Ⅰ	1前	2			1						
	基礎数学Ⅱ	1後		2		1						
	基礎数学演習Ⅰ	1前		2		1						
	基礎数学演習Ⅱ	1後		2				1				
	代数学Ⅰ	2前	2			1						
	代数学Ⅱ	2後		2		1						
	基礎解析学Ⅰ	2前	2			1						
	基礎解析学Ⅱ	2後		2		1						
	基礎物理学	1前	2			1						
	一般物理学	1後		2		1						
	基礎物理学実験	2前		2				2				
	応用物理学	2後		2		1						
	基礎化学	1前		2		1						
	物質と化学	2後 2前		2				1				授業日程のため、前期・後期を変更(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科共通専門通科目	水環境学	2後		2		1						
	生物学の基礎	1前		2								
	バイオサイエンス	1後		2								
	バイオテクノロジー	2前		2								
	コンピュータサイエンス	1前	2					1				
	コンピュータの基礎	1前		2		1						
	ソフトウェアの基礎	1後		2				1				
	プログラミングの基礎	2後 2前 2前		2		1						授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	情報処理演習	2後		2		1						授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	コンピュータと社会	3前 3前		2		1						
	資格取得実践講座	3後		2		1						授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	職業指導Ⅰ	3前		2		1						
	職業指導Ⅱ	3後		2		1						
	教育本質論	1前	2			1						
	教育課程と特別活動の研究	2前	2			1						
	教師論	2後	2			1						
	教育心理学	2後	2				1					
	教育行政学	2後	2			1						
	生徒指導と進路指導の研究	2後	2			1						
	教育方法論	3前	2			1						
	教育相談とカウンセリングの研究	3前	2			1						
	教職実践教習(中等)											
	総合的課題の教職演習	3後	2			1						授業科目名称の変更(22)
	教育実習Ⅰ	3前	2	2		1						多様な進路に対応するため、平成20年度から選択科目へ変更
	教育実習Ⅱ	4前	2	2		1						
	教育実習Ⅲ	4前	2	2		1						
道德教育の研究	1後	2			1							
介護等体験	3前	2			1							
専攻科目	無機化学	1後		2								
	有機化学	2前		2		1						
	分析化学	2前		2				1				
	環境化学	3前		2		1						
	物理化学	2後		2				1				
	基礎化学実験	2後		2		1		1	1			
	環境生態学	2後 2前 2前		2								授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	分子生物学	2後		2								授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	発生生物学	3前		2								
	細胞生物学	3後		2								
	微生物学	4前		2								
	生物学実験	1後		2								
	地学の基礎	3前		2								
	地学実験	3後		2		1	1					
	幾何学Ⅰ	2後		2		1						
	幾何学Ⅱ	3前		2		1						
	応用数学Ⅰ	3後		2					1			
	応用数学Ⅱ	4前		2					1			
	図学	2後		2				1				授業日程のため、前期・後期を変更(22)
	解析学Ⅰ	3前		2					1			
	解析学Ⅱ	3後		2					1			
	解析学Ⅲ	4前		2					1			
数値解析Ⅰ	3前		2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	数値解析Ⅱ	3後		2			1						
	確率統計学Ⅰ	3後		2				1					
	確率統計学Ⅱ	4前		2				1					
	コンピュータ	1後		2		1							
	プログラミング入門	2前		4				1					
		2前											
	デジタル回路	2後		2		1						授業日程のため、前期・後期を変更(22)	
	環境計測	2前		2		1							
	環境計測演習	2後		2		1			1				
		3前											
	計測システム	3後		2			1					授業日程のため、前期・後期を変更(22)	
		1後											
	情報機器	1前		2					1			授業日程のため、前期・後期を変更(22)	
	情報ネットワーク	1後		2		1							
		2後											
	ネットワークの基礎	2前		2		1						授業日程のため、前期・後期を変更(22)	
	コミュニケーション技術演習	2後		2		1							
	セキュリティ技術	3前		2					1				
	デジタルデザイン演習	3前		2		1							
	画像処理演習	3前		4					1				
		3後											
	情報と職業	2前		2		1						授業日程のため、前期・後期を変更(22)	
	理科教育法Ⅰ	3前		2									
理科教育法Ⅱ	3後		2										
理科教育法Ⅲ	4前		2										
理科教育法Ⅳ	4後		2										
数学科教育法Ⅰ	3前		2		1								
数学科教育法Ⅱ	3後		2		1								
数学科教育法Ⅲ	4前		2		1								
数学科教育法Ⅳ	4後		2		1								
情報科教育法Ⅰ	3前		2		1								
情報科教育法Ⅱ	3後		2		1								
卒業研究Ⅰ	4前	3			4			3					
卒業研究Ⅱ	4後	3			4			3					
専攻連携科目	機械工作法	1前		2			1						
	基礎製図	1後		1			1						
	CAD演習	3前		2			1						
	機械加工演習Ⅰ	1前		2		1	1						
	機械加工演習Ⅱ	1後		2		1	1						
	都市計画	3前		2		1							
	Web基礎演習												
	情報システム設計	2後		2		1						授業科目名称の変更(22)	
		3前		2		+			+			他学科の開講科目であり、担当学科がカリキュラムを変更したため(22)	
	メディアネットワーク演習Ⅰ			2								授業科目名称の変更(22)	
	ビジュアルコンテンツ基礎												
	マルチメディア技術	3後		2		1						他学科の開講科目であり、担当学科がカリキュラムを変更したため(22)	
		3後		2		+			+				
	ゲーム作成技術	2前										授業日程により配当年次を変更(22)	
	地球環境論	1後		2		1						授業日程により配当年次を変更(22)	
		1前											
	環境材料科学	2前		2		1						授業日程により配当年次を変更(22)	
		1後											
	機能性物質概論	2前		2		1						授業日程により配当年次を変更(22)	
		3前											
環境機器分析	3後		2		1			1			授業日程のため、前期・後期を変更(22)		
	3前												
環境機器分析実習	3後		2		1			1			授業日程のため、前期・後期を変更(22)		

(2) 授業科目数
(届出)

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
26科目	114科目	0科目	140科目	24科目 [Δ2]	114科目 []	0科目 []	138科目 []	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	メディアネットワーク演習 I	2	3	専門	選択	他学科の開講科目であり、担当学科がカリキュラムを変更したため
2	ゲーム作成技術	2	3	専門	選択	他学科の開講科目であり、担当学科がカリキュラムを変更したため
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(大学の所見) 廃止した科目については，他学科の開講科目であるため，学生には特に影響は出ていない。
(周知方法) 時間割、履修時のオリエンテーション

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	70,711㎡	㎡	㎡	70,711㎡			
	運動場用地	34,373㎡	㎡	㎡	34,373㎡			
	小 計	105,084㎡	㎡	㎡	105,084㎡			
	そ の 他	8,014㎡	㎡	㎡	8,014㎡			
	合 計	113,098㎡	㎡	㎡	113,098㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		26,904㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	26,904㎡ (㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 23室	演 習 室 31室	実験実習室 67室	情報処理学習施設 3室 (補助職員 人)	語学学習施設 1室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 工学部 教育創造工学科			室 数 8 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔 〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学部	[] (112,132 [21,891])	[] (232 [127])	[] (0 [0])	(2,145)	(0)	(0)	
	計	[] (112,132 [21,891])	[] (232 [127])	[] (0 [0])	(2,145)	(0)	(0)	
(6) 図 書 館	面 積 1,272㎡		閲 覧 座 席 数 170		収 納 可 能 冊 数			
(7) 体 育 館	面 積 2,102㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	388千円	329千円	図書購入費	200千円	200千円	1,000千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	44,774千円	2,850千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,410千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	久留米工業大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
機械システム工学科	4	60	5	210	学士 (工学)	0.75	昭和51年	福岡県久留米市 上津町2228-66	
交通機械工学科	4	90	5	370	学士 (工学)	0.95	昭和51年		
建築・設備工学科	4	70	5	280	学士 (工学)	0.52	昭和51年		
情報ネットワーク工学科	4	80	5	340	学士 (工学)	0.53	昭和60年		
環境共生工学科	4				学士 (工学)		平成14年		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 教育創造工学科>

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	1	3		9		5	1	2		8		
(5)	(0)	(3)	()	(8)	()	[]	[]	[Δ1]	[]	[Δ1]	[]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(大学の所見)	届出時の計画から変更状況については、学生に対して影響は出ていない。
(周知方法)	シラバス、時間割、履修時のオリエンテーション

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 教育創造工学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
定員数30名	平成22年度より募集停止を行った学科があり、定員数を40名に変更した

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 ファカルティ・デベロップメント委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年3回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 添付の委員会規程第5条</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 授業評価アンケート</p> <p>b 実施方法 教員（1科目）毎に実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 全教員</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 評価結果を担当教員へフィードバックし、自ら授業改善を行う。</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

・平成21年3月27日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成20年度に日本高等教育評価機構による第三者評価を受審し、平成21年3月24日付「認可」の判定を受けた。認可の有効期間は、平成20年4月1日から平成27年3月31日までの7年間である。

(注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 10月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kurume-it.ac.jp>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

(別紙) 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、工学の基礎知識の上に、理科、数学、情報の専門分野に応じて実験・実習に重点を置いた教育を行い、理数科の教育に関して興味や面白さが伝えられる実践力のある教員を育成することを目的としている。その趣旨が活かされるようにカリキュラムが編成され、教育支援がなされている。

教育課程編成

カリキュラムは「理科コース」、「数学コース」、「情報コース」の3つのコースを柱として編成されている。それぞれのコースで、中学・高校の理科教諭一種免許、中学・高校の数学教諭一種免許、高校の情報教諭一種免許が取得できる。在学生の多くが数学と情報、理科と情報など複数コースを受講している。1年次の生物学実験（選択科目）は全員が受講しており、2年次の基礎化学実験や基礎物理学実験など学生が実験・実習に接する機会が多い。フレッシュマンセミナー、工学基礎セミナー、エクステンションセミナーI,IIなどのセミナーは全教員が担当し、少人数教育を実施している。工学の基礎となる実験や「ものづくり」もこのセミナーで行っている。

教員組織

設置届出書10 教員名簿（教員の氏名等）では記載されていないが、平成19年4月から教授（岩切稔）を1名採用した。その間、専任教授5名体制で教育を行ってきたが、平成21年1月に岩切教授が健康を害し、平成21年3月末に辞職した。平成21年度は非常勤講師でその教授の担当科目を補った。平成21年10月理科担当の教授1名を新規採用した。また、平成22年4月理科担当の准教授1名を新規採用した。現在、専任教授5名体制で教育を行っている。

教育方法・履修指導

教員養成の学科として、本学科は学生を学校現場に連れて行く機会を多く設けている。学校現場での授業参観を毎年実施している。事前指導を十分行い、授業参観後はレポートを作成する。平成19年度は小学校に1回、平成20年度は中学校に3回、高等学校に1回、平成21年度は中学校に1回、高等学校に1回行った。また、福岡県教育委員会主催のヤングアドバイザーや近隣の教育委員会主催の学習支援員にも学生が参加している。平成21年度は計6名が半年以上にわたって中学校に通い、不登校の生徒の相談相手として、また、授業の補佐員として活動した。学科としてはこれら学生の活動を積極的に支援している。また、野外活動も実施している。平成19年度は水質調査、土壌生物の調査、平成20年度は水生生物調査、土壌生物の調査を行った。このように本学科は座学だけではなく、学外活動、野外活動、ものづくりなどを積極的に企画し、実施している。学生の出席状況はVNCシステムによって本学科の全教員が把握している。本学はクラス担任制度を採用しており、出席のよくない学生に対してはクラス担任が保護者、学生と連絡を取り、きめ細かい指導

をしている。

施設・設備の整備

平成 19 年 4 月、1 号館 3 階に「生物実験室」と「地学実験室」を新設した。「化学実験室」も 1 号館 3 階に移動し、リニューアルした。「物理実験室」は既存のものを使用している。必要な機器・備品も購入した。セミナー室も 3 部屋新設し、少人数教育に利用している。平成 21 年 9 月には「教育教材開発室」を新設し、コンピュータ、物理実験機器を導入した。

入学者選抜

入学者は定員 30 名に対して、平成 19 年度 16 名、平成 20 年度 14 名、平成 21 年度 19 名、平成 22 年度 31 名である。平成 22 年度は大幅に増加した。志願者数も平成 19 年度 30 名、平成 20 年度 34 名、平成 21 年度 40 名、平成 22 年度 54 名であり、増加傾向にある。本学科の存在が社会に知られるようになった結果と言える。しかしながら、入学者の確保は今後の重要な課題である。

ファカルティ・デベロップメント (FD)

学科独自の FD として、平成 20 年 10 月、高等学校校長経験者の話を聞く研修会を開催した。研修会では学校現場における諸問題についての議論、討論がなされた。平成 21 年 7 月、九州大学教授による特別講演会を本学科主催で開催した。講演題目は「危機に立つ理科教育」で、我が国の初等・中等理科教育の現状が報告され、科学技術立国日本としての教育について議論がなされた。いずれも本学科の全教員が参加している。